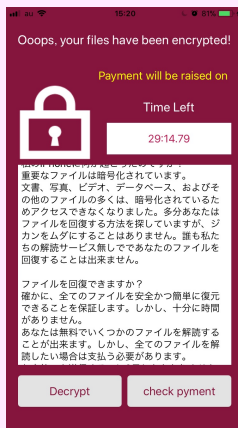


アプリ『アニマム』

チーム名『名嘉村先生親衛隊』(K 班)

城後 明慈、後藤 大和、与那嶺 東

原 大貴、浅山 衣葵、大城 慶知

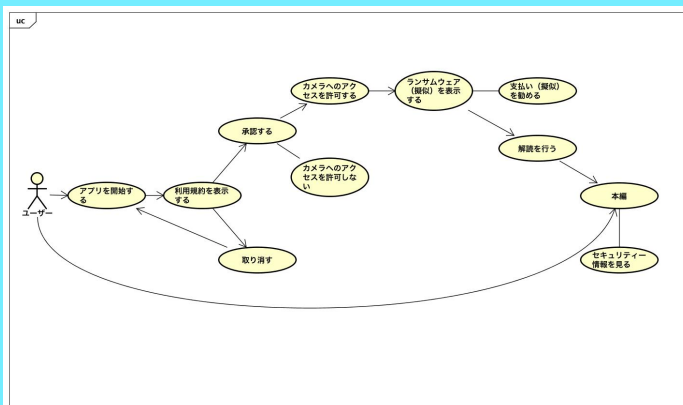


『アニマム』って何??

時は西暦 2XXX 年、アニマムとは可愛い動物のゆるふわアプリを偽り、謎の未来型コンピュータウィルスとの闘いを体験できる超近未来的セキュリティアプリである。ウィルスに感染するかどうかは君次第だ!! 健闘を祈る。

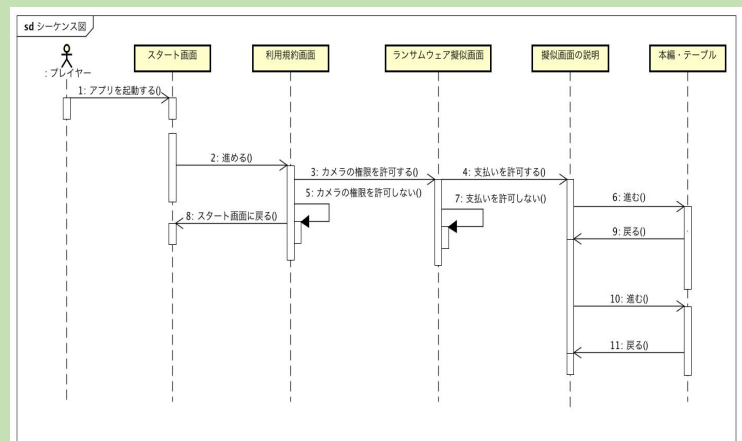


ユースケース図



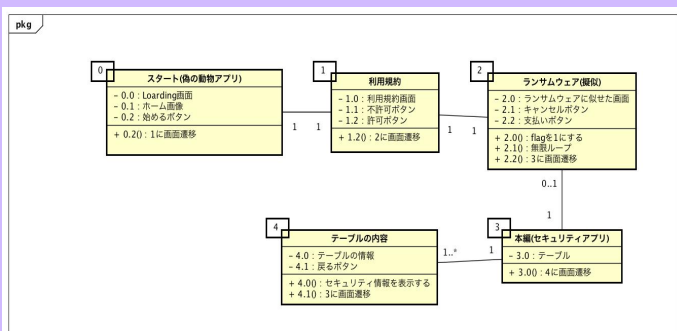
ユースケース図は外部から見てシステムがどのような振る舞いをするか表現している。始めるで、アプリを開始。利用規約画面にカメラへのアクセス権限を許可するとランサムウェアの模擬画面に。模擬画面の次に本編の画面になり、セキュリティの情報が見られる。

シーケンス図



アプリのオブジェクト間のやり取りを表した図。このアプリを構成する要素として、「スタート画面」・「利用規約画面」・「ランサムウェア擬似画面」・「擬似画面の説明」・「本編・テーブル」で成り立っている。

クラス図



これはクラス図である。アプリの画面ごとに一つのクラスとしてみて、それぞれのクラス間の関係を大まかに表している。よって、このクラス図を見ることにより、ユーザのアプリを操作している視点でアプリの内容を理解することができる。

アニマムの目的



上図のように、利用した人がセキュリティに対して少しでも立ち向かえるようなアプリにしたい。ある講義の後にセキュリティボランティアの手伝いを募集していたが、誰もそれに参加しなかった。ボランティアが少なくても参加者がセキュリティに気軽に触れられるようなアプリにするとよいと思った。